

荒川区保健所長 殿

開設者住所

開設者氏名

電話番号 ()

ファクシミリ番号 ()

（法人にあっては主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の職氏名）

歯 科 技 工 所 開 設 届

歯科技工所を開設したので、歯科技工士法第21条第1項前段の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 名 称			
2 開 設 場 所		荒川区 丁目 番 号 電話番号 () ファクシミリ番号 ()	
3 開設年月日		年 月 日	
4	管 氏名		
	理 住所	電話番号 () ファクシミリ番号 ()	
	者 免許の種別、登録番号及び登録年月日	種 別： 歯科医師 ・ 歯科技工士 第 号 年 月 日	
5 業務に従事する者			
種 別	氏 名	免許の登録番号及び登録年月日	リモートワークを行う場合は、リモートワークを行う場所及び連絡可能な電話番号
歯科医師 歯科技工士		第 号 年 月 日	
歯科医師 歯科技工士		第 号 年 月 日	
歯科医師 歯科技工士		第 号 年 月 日	
歯科医師 歯科技工士		第 号 年 月 日	
6 構造設備の概要及び平面図（別添）		歯科技工所 面積 m ² 造 階建 歯科技工所の構造設備の詳細は裏面のとおり	
備考			
1 歯科医師及び歯科技工士は、免許証の写しを添付すること。			
2 開設者が法人の場合は、当該法人に係る登記事項証明書（全部事項証明書に限る。）を添付すること。			
3 敷地の平面図及び付近の見取図を添付すること。歯科技工室の平面図については、機械、器具等の配置を記入すること。			
4 この様式において「リモートワーク」とは、「2 開設場所」の記載欄に記載した場所以外の場所において、電子計算機を用いた情報処理による、特定人に対する歯科医療の用に供する補てつ物、充てん物又は矯正装置の設計及びこれに付随する業務（切削加工、研磨等を行わない業務に限る。）を行うことをいう。			
（注） 免許証については、本証を持参すること。			

(裏)

歯科技工所の構造設備		
※備えている設備及び器具等の前の□の中にレを付すこと。		
※「有」又は「無」のいずれか及び「適」又は「否」のいずれかを○で囲むこと。		
項 目	歯科技工士法施行規則	状 態
① 歯科技工を行うために必要な設備及び器具等を備えている	第 13 条の 2 第 1 号	有・無
※「歯科技工を行うために必要な設備及び器具等」は次のとおり □防音装置 □防火装置 □消火器 □照明設備 □空調設備 □給排水設備 □石膏トラップ □空気清浄機 □換気扇 □技工用実体顕微鏡（マイクロスコプ） □電気掃除機 □分別ダストボックス □防じん用マスク □模型整理棚 □書籍棚 □救急箱 □吸じん装置（室外排気が望ましい） □歯科技工用作業台 □材料保管棚（保管庫） □薬品保管庫		
② 歯科技工を円滑かつ適切に行うのに支障のないよう設備及び器具等が整備及び配置されており、かつ、清掃及び保守が容易に実施できる	第 13 条の 2 第 2 号	適・否
③ 手洗い設備を有している	第 13 条の 2 第 3 号	有・無
④ 常時居住する場所及び不潔な場所から明確に区別されている	第 13 条の 2 第 4 号	適・否
⑤ 安全上及び防火上支障がないよう機器を配置でき、かつ、10 m ² 以上の面積を有している	第 13 条の 2 第 5 号	適・否
⑥ 照明及び換気が適切である	第 13 条の 2 第 6 号	適・否
⑦ 床は、板張り、コンクリート又はこれらに準ずるものである	第 13 条の 2 第 7 号	適・否
⑧ 出入口及び窓は、閉鎖できるものである	第 13 条の 2 第 8 号	適・否
⑨ 防じん、防湿、防虫又は防そのための設備を有している	第 13 条の 2 第 9 号	有・無
⑩ 廃水及び廃棄物の処理に要する設備及び器具を備えている	第 13 条の 2 第 10 号	有・無
⑪ 歯科技工に伴って生じるじんあい又は微生物による汚染を防止するのに必要な構造及び設備を有している	第 13 条の 2 第 11 号	有・無
⑫ 歯科技工に使用される原料、材料、中間物等を衛生的かつ安全に貯蔵するために必要な設備を有している	第 13 条の 2 第 12 号	有・無
⑬ リモートワークを行う者がいる場合は、個人情報の適切な管理のための特段の措置を講じている	第 13 条の 2 第 13 号	適・否